

「三中校長脳卒中で倒れちゃった⑤」

【ごあいさつ】

まずは、このコラムを初めて読まれる1年生の保護者・生徒の皆様にご挨拶です。校長の荒木です。この不定期コラムは、校長だよりの裏面が空いていてもったいないので、学校を運営している私の感じたことなどを書かせて頂くことで、三中のことを知ってもらおうきっかけになればと、昨年7月に始めました。表面とは違い、重要な情報はなく、お時間がある方のみ読んで頂けたらという位置づけで、No.1では、自分の生い立ちを書き始めていました。ところが入学式でも少し触れましたが、私は今年の7月脳出血を起こして入院し、リハビリのための転院を経て、12月退院、この1月より三中に復帰しています。結局No.2が出せたのが1月、そこからNo.5まで、倒れた時の経緯や病院での体験を書きました。今回から続きを書かせて頂きますが、No.1~5を読まないとわからないこともあるかと思えます。近々バックナンバーを三中ホームページに掲載します。ご興味のある方はご覧ください。

【車の免許更新顛末記①】

7月に倒れて10月になっても、左手はグーパーもできず、杖をついての歩行も困難でした。そんな頃、丁度車の免許更新の時期がきていて、リハビリ病院入院中に期限の12月21日を過ぎてしまうことに気づきました。リハビリ病院への転院時「社会（職場）復帰は難しいだろう」と主治医に言われたと、妹から聞いてはいましたが、車の運転ができなければ、日常生活そのものがままなくなります。私の父も67歳の時脳梗塞になり、私より重症の右半身不随ですが今も免許は維持しているので、何とかなると甘く考えていました。この頃、12月末の退院が確定したので光明池運転免許試験場にどうすればよいか病院のソーシャルワーカーを通じて問い合わせました。コロナ禍でもあり、期限延長は簡単とのことで、郵送で手続きを済ませました。今後の事を訊ねると今回は免許更新と重なるので、更新時の面談で確認しその後必要があれば、診断書など関係書類を提出することになる、とのことでした。少しでも早く運転をできるようにしたかったので、

あらかじめ必要書類を揃えて持っていきたいとお願いしたのですが、担当の方に「手続き上出来ない」と言われしぶしぶ引き下がりました。

バスケットボール指導者の仲間たちが、NBAファイナルを視聴できるようにと差し入れてくれたタブレットとポケットWi-Fiをつかい、免許更新の予約を入れました。退院の12月28日午後がとれました。

退院の日の朝、苦労してネクタイを締め（洗濯ばさみがあると片手でもできます）、10時に迎えに来てくれた妹が退院の手続きをし、自宅へ帰りました。元同僚の方に迎えに来てもらい、入院中夢にまで見た「昌久園」の焼肉ランチを食べにいった後、光明池運転免許試験場に連れていってもらいました。厳重なコロナ対策の中、予約時間から玄関に並びました。まず、暗証番号を設定したあと、問診票を記入。ここに体の状況を書く欄がありました。適性検査後の面談では、担当者は私の手の動きなどは一切確認することなく、「脳出血」という文字と人の模式図の左手と左足の部分に斜線を書き入れるだけでした。原チャリの免許は失効、四輪もオートマ限定になるとのこと。そりゃそうですね。今後の手順を訊ねると「しばらくしたら、こっちから書類送るから、主治医に運転を許可する書類を書いてもらって返信して。それを審査して、問題なければOK。あ、それまで運転は自粛する念書に今、サインして」「自粛？じゃあ、法的には今日もらえる免許で運転していいんですか」「事故起こしたら自己責任やで」「？」無理に運転するつもりはないけど、許可出た後も事故は自己責任やでなあ？

入院中に予約していた倒れた時に診てくれた主治医の診察に1月7日に行きました。「社会復帰無理」と言っていた人に元気な姿を見せて喜んでもらおうと思っていましたが、緊急手術が入ったとのことで非常勤の医者が対応してくれました。その人に運転免許のことを訊くと、「書類が届いたら証明書を扱う受付に出して」といわれました。待望の書類が届いたのが1月17日。喜び勇んで書類を出しに行きました。受付の方に、主治医から運転の許可が出たのか訊かれ、非常勤の医者に対応頂いたことを伝えると、やはり主治医に会う必要があるとのことだったので、直近で可能な日を予約しました。

1月21日半年ぶりに主治医に会えたので、「お久しぶりです」と診察室に入っていました。返事がない。あれ？と思って顔を覗き込むと不機嫌そうな表情。「免許の許可、出さないから」「…え？」

【不定期コラムNo.7】 つづく